

第1回 認知症と向き合う「幸齢社会」実現会議



公益社団法人認知症の人と家族の会

代表理事 鎌田松代

認知症の人と家族の会と、その活動

1980年1月に結成し、今年には43年目の公益社団法人の団体。

- 本人や家族を中心に、認知症に関心のある人ならだれでも入会でき会員は約9,700人。結成当時の団体名は「呆け老人をかかえる家族の会」。
- 始まりは、認知症に対して医療も介護も福祉も関わりがほとんどない時代に、認知症の人の症状に苦しみ、悩んでいる人に呼びかけた小さな新聞記事を見た介護家族90名が
- 全国から京都の岡崎に集まり、会を結成。

- ◇活動内容：
- “つどい”（交流や情報交換の場）
 - 会報発行 ○電話相談
 - 当事者の声を社会に届けよくする活動

認知症の人と家族の会の活動

ピアサポート活動と認知症になっても安心して暮らせる社会づくり

同じような介護や診断を受けた人に出会い、
悩みを打ち明け思いを共有

「気持ちが悪くなった、勇気が出た」と認知症と向うあう力に

○老老介護

○ワーキングケアラーの増加

認知症の人と家族の会活動





老老介護、仕事と介護

父の車いすを押す母
76歳でヘルパーの資格取得。
もの忘れが目立ってきた母だった。

弱った家族を少し元気な家族が介護

介護は人間だけ。他の動物は子育てはしても介護はしない。

崇高な営み、社会や施策がそれを支援